

教育実習

9月11日（月）～10月2日（月）の3週間、本校卒業生1名（実習教科は保健体育）の教育実習を実施しました。

最初の1週間は授業見学と教材研究、指導案作成、最終週の研究授業以外の授業を担当して経験を積み、最後に研究授業に臨みました。

本校における教育実習の前にも十分に教材研究をしてきたと思いますが、実際に生徒達を前にして指導することは大変なようでした。

体育実技の授業とは違い、座学の保健の授業では体を動かさない中で、生徒達の意識の集中を継続させるために場面展開の工夫が大切になります。知識の幅、指導方法の幅など学ぶことはたくさんあります。

生徒達がどのように反応するのかを観察しながら指導する対応力の幅を広げること、深めていくことは教育に携わる職業に就くためには非常に大切です。

研究授業の後には指導教員、授業見学をした教員からのアドバイス等をもらい、さらに充実した授業実現への思いを新たにされた貴重な体験であったことだと思います。



